

地域の活力向上に貢献できる  
旭川空港に



市長が、旭川のまち・人・物などについて思うことをお伝えします。

リオデジャネイロでのオリンピックが始まり、9月のパラリンピックまで熱戦が繰り広げられます。本市出身などゆかりの選手、また女子レスリングやウィルチェアーラグビーなど旭川で事前合宿を行った選手たちへの応援は特に熱が入ります。現地までは飛行機で25時間以上上かかりますが、日本から遠く離れたブラジルの地で活躍する選手の方々に、心からエールを



送りたいと思います。さて、今年旭川空港が開港から50周年を迎えました。ブラジルまでの直行便はありませんが、東京などへの国内線をはじめ、中国や台湾へ直行する国際定期便も増え、今では年間110万人を超える方々に利用されています。海に面していない旭川市にとって、空港が果たす役割は大きく、観光やビジネス客の移送手

段としてだけではなく、物流の担い手としても私たちの生活を支えています。来月には50周年を記念する行事を予定していますが、道北地域における人や物の玄関口として、機能や利便性をさらに高めるため、管理運営の手法や施設の在り方など検討を進め、引き続き多くの皆さんに愛され利用される空港として、地域の活力向上に貢献できるよう取り組んでいきます。

西川市長のまさに一言  
FMリバー FM83.7MHz  
8月25日(木)  
午後4時～4時15分

西川 将人

## 旭川市の広報番組

### テレビ

●マイタウンあさひかわ (手話通訳付き) HBC

8月28日(日)

午前6時30分～45分

「旭川の夏の暑いイベントを紹介します! (仮題)」

●旭川市民ニュース STV

毎週土曜日

午前11時54分～58分

●わくわくライブ旭川

ケーブルテレビポテト 11ch

毎週土曜日

午後1時～1時30分のうち、15分間

### ラジオ

●市からのお知らせ

FMリバー FM83.7MHz

毎月第1～3木曜日

午後4時から約5分間

## クイズに答えて

## プレゼントを 当てよう!



●問題 今月号の特集のタイトルは「大きく羽ばたく旭川空港〇〇周年」です。〇〇に入る数字は?

●応募方法 はがきかファックス、電子メールに、答・住所・氏名・年齢・電話番号と広報誌を読んだ意見や感想、取り上げてほしいテーマなどを記入して、9月5日(月)までに下記の応募先へ。正解者の中から抽選で5人に、JAL・ANA・ADOの各航空会社のオリジナルグッズをプレゼントします。7月号の正解は「文化」、6月号への応募は156通でした。

●応募先 〒070-8525 旭川市6条通9丁目 旭川市役所広報広聴課「広報クイズ係」

☎25・6515 ✉kohoquiz@city.asahikawa.hokkaido.jp



## 夜間・休日等の当番医は

北海道救急医療情報案内センター

一般電話からはフリーダイヤル

☎0120・20・8699

携帯電話からは

☎011・221・8699

旭川市医師会

携帯版



## 市の主な相談窓口

※開設日時は窓口によって異なります。

●子供に関する相談や  
児童虐待の通報・相談

☎26・5500

●女性が抱える問題や  
配偶者等の暴力の相談

☎25・6418

●ひとり親家庭等の相談

☎25・9107

●高齢者の介護に関する相談

☎25・9119

●障害がある方の総合相談

☎73・5936  
FAX 73・5937

## 子供からの相談電話

子どもホットライン (無料)

☎0120・528506

平日午前8時45分～午後5時15分  
(月・木曜日は午後8時まで)

## 表紙の 写真



開港50周年を迎えた旭川空港は、国内3都市、海外4都市への路線が就航。多くの外国人観光客も利用しています。より魅力ある空港への取組みが進められています。